

第136回日商簿記3級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現	金	当	座	預	金	普	通	預	金	売	掛	金
受	取	手	形	未	収	入	金	手	形	貸	付	金
消	耗	品	土	地	建	物	支	払	手	形	未	払
買	掛	金	当	座	借	越	手	掛	借	入	金	未
商	品	券	資	本	金	売	上	受	取	利	息	消
固	定	資	産	売	却	益	仕	入	減	価	償	却
支	払	運	賃	水	道	光	熱	費	支	払	利	息
												固
												定
												資
												産
												売
												却
												損

1. 水道代 ¥ 10,000 が当座預金口座から引き落とされた。なお、このうち 20%は店主の家事のために使われたものである。
2. 2週間前に ¥ 800,000 の土地を ¥ 700,000 で西井商店に売却していたが、本日、代金の半分が当店の普通預金口座に振り込まれた。
3. 商品 ¥ 100,000 を内田商店より仕入れ、代金のうち ¥ 80,000 は手元に保管している得意先佐藤商店振出しの約束手形を裏書譲渡し、残額を掛けとした。なお、商品の引取運賃 ¥ 3,000 は現金で支払った。
4. 甲斐商店に運転資金 ¥ 600,000 を貸し付けるため、同店振出しの約束手形を受け取り、同日中に当店の当座預金より甲斐商店の普通預金口座に同額を振り込んだ。なお、利息は返済時に受け取ることにした。
5. 消耗品 ¥ 10,000 を購入し、代金は小切手を振り出して支払った。なお、当店の当座預金の残高は ¥ 9,000 であるが、銀行との間で借入限度額 ¥ 50,000 の当座借越契約を結んでいる。また、当店は消耗品の処理について、購入時にいったん費用として計上し、決算時に未費消分を資産に振り替える方法を採用している。